

鈴木市長が平成三年度の施政方針を公表

市民の声をきき行動する市政

鈴木清見市長は、三月定例市議会にて平成三年度に向けての施政方針演説を行いました。

この中で、「これからの都市づくりは、地域の特性や固有の文化を生かして、個性豊かな地域文化を創造していくことが大事」との認識を示し、本年度は「都市は人が拓く」を理念に、「市民の声をきき行動する市政」を基本として、二十一世紀に向けたまちづくりに積極的に取り組んでいきたいと思います」と述べました。今回は、市長の施政方針演説の概要と平成三年度予算のあらましを紹介します。

個性豊かな

地域文化を創造

昨年、私は、平成二年度の市政運営にあたり、市民に開かれた市政の推進を第一に、市民参加による健康で文化的なまちづくりと生涯学習の推進、富士・愛鷹山麓地域の保全と適正な活用、そして行政運営の効率化の五つの基本理念を掲げ、議員各位をはじめ市民の皆さんのご理解とご協力をいただき、この一年間市政の運営に全力を傾注してまいりました。

そして、多くの市民の方々に接し、市民各層のご意見を伺ってまいりましたが、これからの市政運営には、多様化する市民意識や大きく変容する社会情勢の中にあつて、活力に満ちた魅力ある地域社会を創出するため、市民と行政が一体となって都市課題に積極果敢に取り組むことの重要性を改めて痛感いたしました。

これからの都市づくりは、単に効率性、機能性が優先する画一的な考え方から脱却し、地域の特性や固有の文化を生かして、個性豊かな地域文化を創造していくことが大事であると考えます。こうしたまちづくりこそが、都市の魅力を高め、魅力ある都市がおのずと人々を引き付けることにより、さらに活力あるまちとして発展を遂げていきます。

したがって、私は、これからのまちづくりは、そこに住む人々の英知と努力の結集が明日の都市を拓いて行くものと考えています。

私は、こうした認識に立ち、新年度の市政運営にあたっては、「都市は人が拓く」を理念に、「市民の声をきき行動する市政」を基本に置き、21世紀に向けてのまちづくりに積極的に取り組んでまいります。

多くの課題に

意欲的に対応

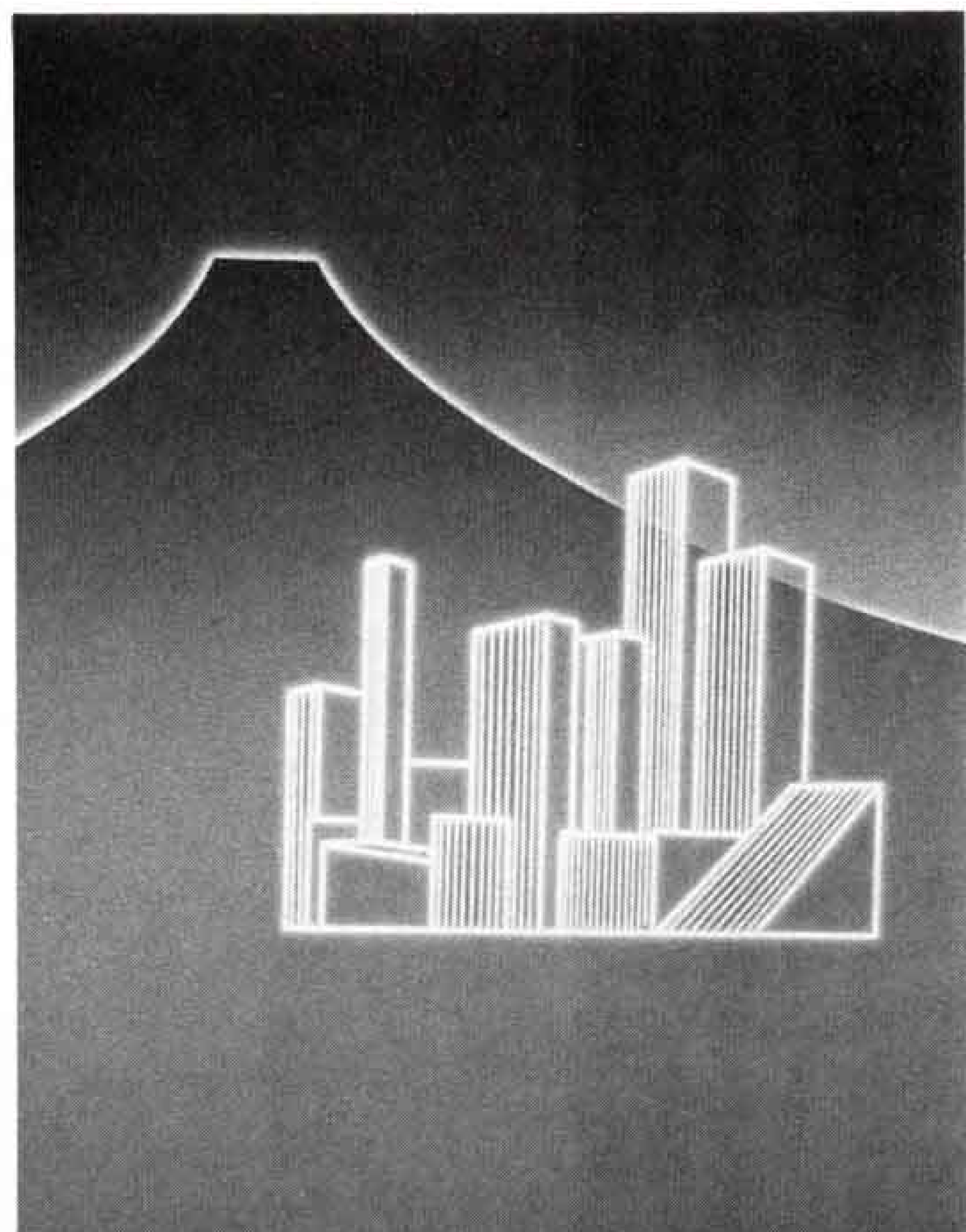
新年度の施策については、まず行政計画として策定しました富士・愛鷹山麓地域環境管理計画に基づき、富士・愛鷹山麓の自然環境を保全し、市民生活の質的向上のための基盤整備や、来るべき高齢者社会に対応した福祉、保健医療施策などの拡充整備を進めてまいります。また、心豊かなまちづくりを進

めるための教育・文化や生涯学習の推進、並びに国際化時代の進展に対応した国際交流を推進するとともに、快適な生活環境を確保するための下水道、公園、街路の生活基盤整備や第二東名自動車道計画への対応など都市基盤整備に取り組む一方、こうした多くの行政需要と幾多の都市課題に意欲的に対応するため政策推進室の設置をはじめとする行政組織の改革を実施してまいります。

なお、次のページでは、新年度の重点施策の概要を五つに分けて紹介いたします。



▷施政方針を述べる鈴木市長

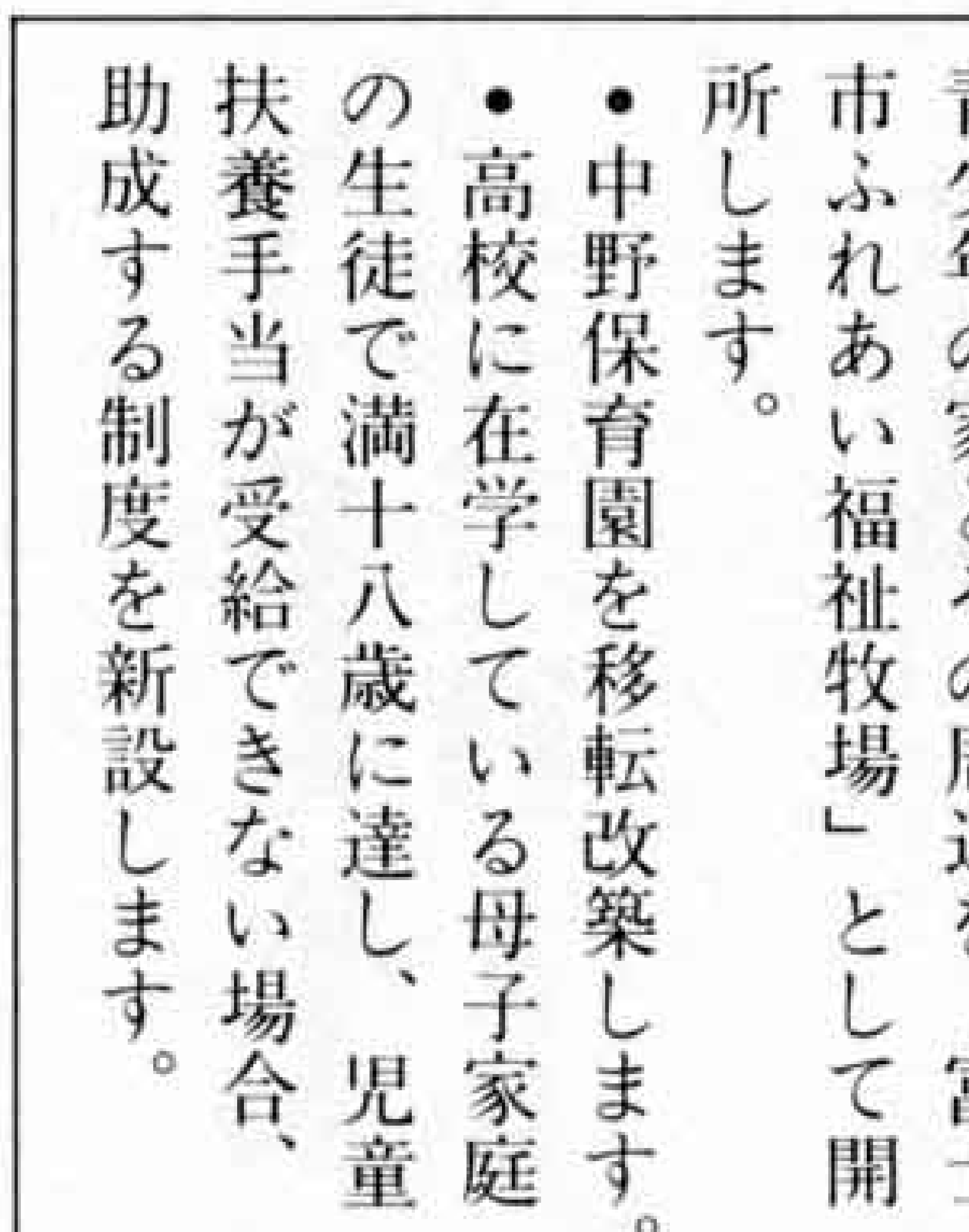


自然に恵まれた
健康で安心して
暮らせるまちづくり



- 富士・愛鷹山麓地域の自然環境の保全と節度ある利用について啓発活動を行い、県が取り組むこともの国や、国が調査を進めている多機能型新都市構想の誘致に積極的な対応をします。
- 酸性雨測定局の整備を図る一方、テレメータシステムを更新します。また、排ガス問題の市民啓発として電気自動車を導入します。
- ダイオキシンの対策は、対策協議会と連携して実態を調査し、対応を検討します。
- 中央病院は増床とあわせ、本館棟の改修をします。また、外科一次救急診療を行うため救急医療センターの増改築を進めます。
- 看護婦不足を解消するため、平成五年四月の開校に向けて、看護専門学校建設を進めます。

思いやりと
生きがいのある
福祉のまちづくり



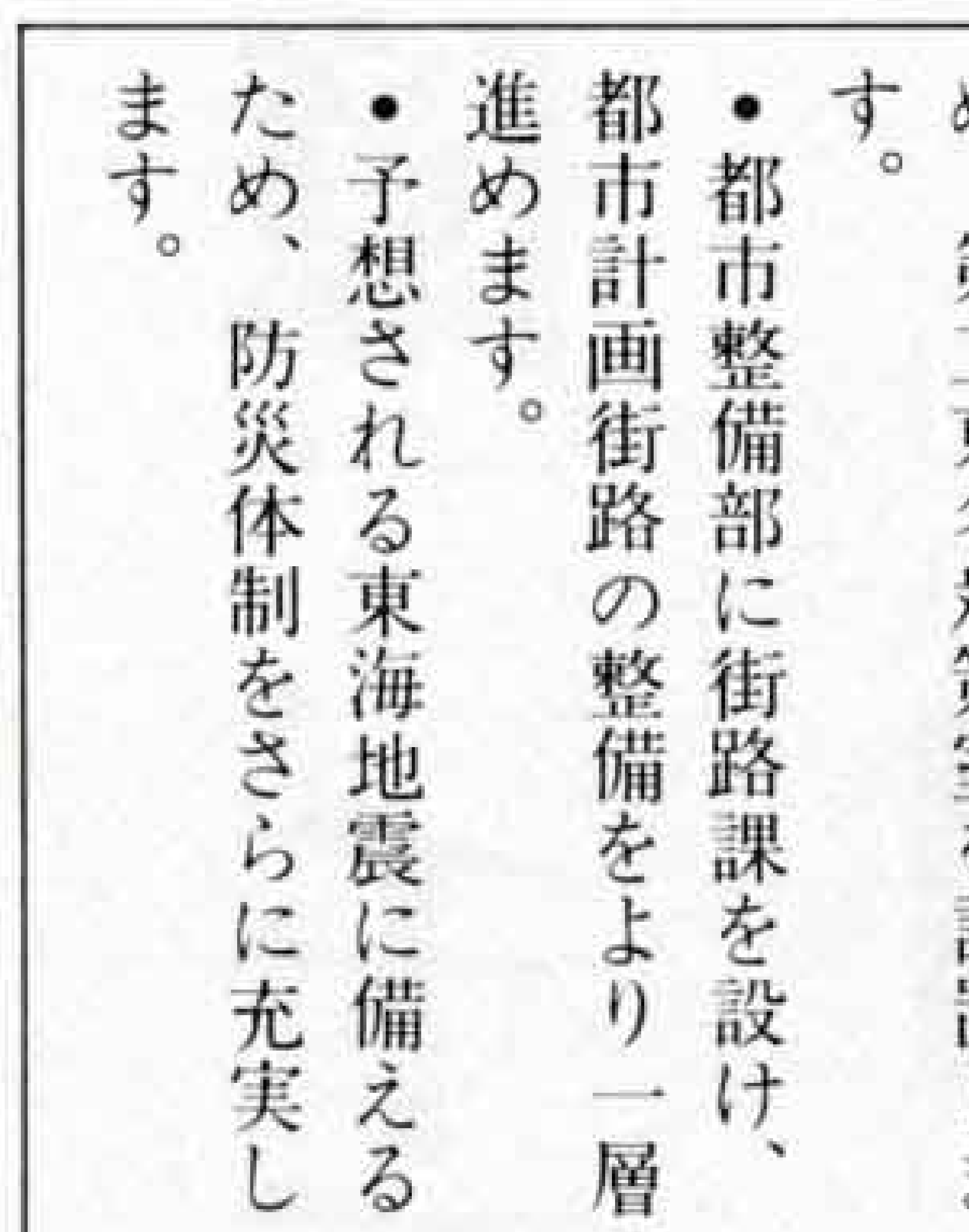
- 高齢化社会への積極的な対応を図るため、福祉課を高齢者福祉課と障害福祉課とし、より一層細やかな福祉行政を推進します。
- お年寄りが身近に専門家の相談指導を受けられるよう、岩本園の在宅介護支援センターの運営を助成します。
- 廃園となる元町保育園を、高齢者介護ホームとし、在宅福祉の増進を図ります。
- 寝たきり老人に寝具クリーニングサービス、介護者には、はり・きゅう・マッサージ費用の助成を行います。
- シルバー人材センターの事務所を改築するため、基本設計を委託します。
- 在宅心身障害児(者)や登校拒否児などのために、旧勢子辻青少年の家とその周辺を「富士市ふれあい福祉牧場」として開所します。
- 中野保育園を移転改築します。
- 高校に在学している母子家庭の生徒で満十八歳に達し、児童扶養手当が受給できない場合、助成する制度を新設します。

文化性豊かな
人づくり
まちづくり



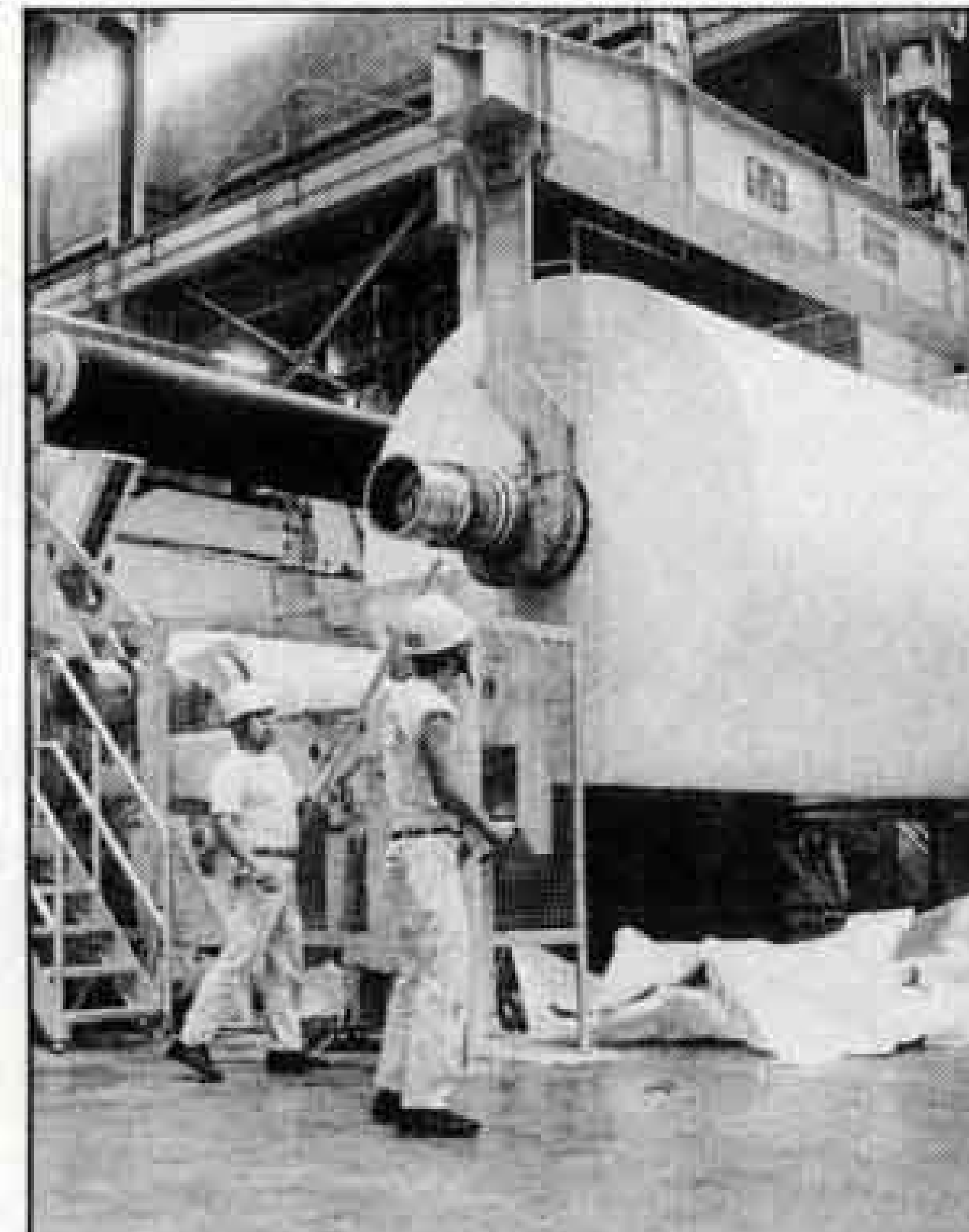
- 市民の価値観の変化や多様化する文化・スポーツニーズにこたえるため、現在の文化体育課を文化振興課と体育振興課とします。
- 文化会館建設と並行して、会館の運営管理のあり方について基本計画を策定し、平成五年十一月の会館に向けて準備を進めます。
- 平成五年度に富士第一小から分離新設される仮称富士中部小学校の校地造成、校舎設計を行います。
- 中央図書館の移転新築に向け用地の確保や建築設計を行います。
- 生涯学習を推進し、公民館の整備・充実を図ります。
- 米国オーシャンサイド市との姉妹都市縁組の検討や中国嘉興市との一層の交流を進めます。

快適で
住みよい
都市環境づくり



- 自治会活動保険加入に対する助成など、地域コミュニティ活動を推進します。
- 一部の公民館にファクシミリを導入し、住民票等諸証明の交付サービスを行います。
- 魅力ある都市景観を形成するため、景観ガイドプランを作成し、広く市民、事業者への啓発を行います。
- 岩本公園、原田公園などの公園整備に加え、滝川の鑑ヶ淵に親水公園の整備をします。
- 上水道は安定供給を図るべく十カ年計画で、第六次拡張計画を実施します。
- 下水道は各処理区の管網整備を積極的に進めます。
- 第二東名の建設で移転対象となる市民の皆さんの要望やこれらにかかわる調査に取り組むため、第二東名対策室を設置します。
- 都市整備部に街路課を設け、都市計画街路の整備をより一層進めます。
- 予想される東海地震に備えるため、防災体制をさらに充実します。

活力に満ちた
産業の
まちづくり



- 県富士工業技術センターを拠点に技術の高度化、製品の付加価値化などを支援し企業の異業種交流を図ります。
- ペーパー・スラッジ及びその焼却灰の処理対策について研究を進めます。
- 吉原東本通り商店街のアーケード設置事業に助成をします。
- 商業労政課に観光係を新設し、これからの観光需要にこたえるよう観光情報の提供に努めます。
- 富士まつりの新曲を制作し、まつりの活性化を図ります。
- 企業的感覺を持った自立農家と農業後継者の育成に努めます。
- 富士ヒノキのピールを積極的に進めます。
- 人材確保のため、地元企業のピールを行います。

会計別予算額

予算名	予算額	対前年度比
一般会計	620億2,000万円	107.8%
特別会計	261億3,033万円	100.8%
企業会計	154億9,571万円	110.2%
合計	1,036億4,604万円	106.3%

緑豊かな安全なまち

43億3,571万円

みどりと自然	3億6,890万円	浮島ヶ原自然公園や丸火公園の整備、花いっぱい事業など
公園、緑地	17億3,730万円	泉の郷整備など
風水害の防止	12億5,819万円	河川改修など
地震防災	3億4,340万円	小・中学校のガラス飛散防止事業、避難地整備事業など
消防、救急	2億9,845万円	第8分団詰所の移転改築、消防水利の整備事業など
防犯、交通安全	3億2,947万円	歩道整備など

健康で住みよいまち

43億9,078万円

保健、医療	41億8,389万円	小児成人病予防検診、看護専門学校の整備事業など
環境汚染防止	1億2,589万円	テレメータ整備、電気自動車整備、ダイオキシン対策など
廃棄物処理	8,100万円	一般廃棄物埋立処分

おもいやりのある福祉のまち

26億4,833万円

社会福祉	1億7,683万円	社会福祉センター等運営委託、民間福祉施設整備事業費補助など
児童福祉	4億9,897万円	保育園改築事業など
心身障害者	2億993万円	家庭奉仕員派遣など
障害者の社会参加	8,807万円	障害者福祉都市の推進、ふれあい福祉牧場の整備事業など
母子・父子家庭	9,006万円	母子家庭修学金助成、乳幼児医療費助成など
勤労者	15億8,447万円	勤労者住宅建設資金貸付事業など

いきいきとした産業のまち

30億1,427万円

工業	3億2,235万円	中小企業資金融資など
商業	7億2,870万円	小口資金融資事業など
観光	5,230万円	案内標識の整備など
農業	14億1,386万円	土地改良事業など
林業	4億9,706万円	林道整備事業など

平成三年度の予算編成は、総合計画に掲げる諸施策を積極的に推進するため、諸事業の選択と限られた財源の重点的、効率的配分に努めました。財源的には、市税収入において、前年度当初予算に対し、五・七%の増加を見込む等、できる限りの財源確保に努めました。また、歳出では前年度からの継続事業である(仮称)文化会館の建設をはじめ看護専門学校建設、吉原商業高校校舎改築など諸施策の予算化を図りました。新年度の重点施策を「ふじ21世紀プラン」に基づき紹介します。

ふれあいのある快適なまち

128億9,753万円

コミュニティー	5,856万円	公会堂建設補助など
市街地整備	17億3,077万円	土地区画整理事業、第二東名自動車道推進対策事業など
住宅	5億9,683万円	市営住宅建替事業
生活道路	19億472万円	市道新設改良など
都市計画	26億1,490万円	都市計画街路の新設改良事業
上水道	10億2,072万円	第6次拡張事業など
下水道	49億3,500万円	管渠整備など
市街地景観	3,603万円	河川緑化事業など

高齢者の生きがいと活力あるまち

5億8,041万円

健康の保持	1億6,741万円	老人保健ヘルス事業
高齢者医療	495万円	老人医療費助成事業
在宅福祉	3億2,633万円	在宅老人サービス事業、ねたきり老人等介護者援護事業
福祉施設	1,000万円	天間荘整備補助
高齢者の社会参加	7,172万円	シルバー人材センター改築事業、老人クラブ活動助成など

心豊かな人づくりのまち

86億9,184万円

幼児教育	1億7,290万円	就園奨励費補助など
義務教育	26億3,550万円	小学校新設事業など
高等学校教育	4億9,450万円	吉原商業高校校舎改築事業、全国高校総体運営費補助
社会教育	3億4,830万円	公民館整備事業など
青少年の健全育成	1億366万円	少年自然の家整備、新青少年の船事業など
芸術・文化	41億9,716万円	(仮称)文化会館建設事業、中央図書館移転改築事業など
文化財保護	586万円	文化財保護事業など
国際文化交流	1億2,194万円	市民友好の翼など
スポーツ・レクリエーション活動の振興事業	6億1,202万円	富士体育館改築事業など

平成三年度 一般会計は六百二十億一千万円に